

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年12月1日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027・日本ラグビーフットボール協会・ジャパンラグビーリーグワン
包括連携協定 締結式を実施しました
～ラグビーでつなぐ！幸せを創る明日の風景～

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、会長：筒井義信、所在地：横浜市中区）は、2025年11月28日（金）に秩父宮ラグビー場にて、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会（会長：土田雅人、東京都港区）および一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン（理事長：玉塚元一、東京都港区）と共に持続可能な未来の社会づくりを目指す包括連携協定を締結しました。



GREEN×EXPO 2027・日本ラグビーフットボール協会・ジャパンラグビーリーグワン
包括連携協定 締結式

包括連携協定の概要

1 連携事項

- (1) 持続可能な社会、自然環境の実現に関すること
- (2) 催事・イベントの実施に関すること
- (3) 次世代への啓発活動に関すること
- (4) 広報・プロモーション活動、機運の醸成に関すること
- (5) その他、互いの事業の価値向上等に関すること

2 本包括連携協定に基づく具体的な取組

(1) 「Blooming RING Action」への参加

ラグビー選手やチーム関係者が、GREEN×EXPO 2027を応援する合言葉「We are Blooming」と応援の意を込めた「Bloomingポーズ」で撮影した写真と所属ラグビーチームの環境アクションを投稿していただきます。それにより、地球・自然・植物に、寄り添い・つながり・共に生きていく思いの輪をラグビー界に広げていきます。

(2) ラグビーの試合会場等におけるGREEN×EXPO 2027情報発信

日本代表戦の試合会場内において、GREEN×EXPO 2027のブースを設置し、プロモーション映像等を紹介します。試合を観戦しにいらした方々に、地球、自然、植物とスポーツの相互関係を考える機会が創出されます。

(3) 日本ラグビーを象徴する桜の植樹式実施

日本ラグビーは、2026年に100周年を迎えます。そのエンブレムである「桜」をGREEN×EXPO 2027の会場内に植樹する「レガシープログラム」の実施を予定しております。

3 締結期間

2025年11月28日（金）～2027年12月31日（金）

包括連携協定の背景

芝生の上でプレーするラグビーは、天候や気温、グラウンドの芝の状態など、自然環境の影響を大きく受ける屋外スポーツです。昨今の地球規模の気候変動を受け、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会は、2024年10月に国連の「スポーツを通じた気候行動枠組み (Sports for Climate Action Framework)」に署名し、環境サステナビリティ推進宣言を行いました。ラグビーの「ワンフォーオール、オールフォーワン」の精神で、環境課題の解決に取り組み、未来の子どもたちがスポーツを楽しめる世界の実現を目指しています。

このたび、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と一般社団法人ジャパンラグビーリーグワンは、GREEN×EXPO 2027のテーマ「幸せを創る明日の風景」の理念に賛同していただき、多くの人々に訴求できるスポーツの力を活用したいという思いから、包括連携協定を結ぶこととなりました。

これにより、GREEN×EXPO 2027が発信する「生物多様性の危機など地球規模の課題」を一人ひとりが「自分ごと」として捉える契機となることが期待されます。

【参考】包括連携協定 締結式の概要

名 称：GREEN×EXPO 2027・日本ラグビーフットボール協会・ジャパンラグビーリーグワン

包括連携協定 締結式 ～ラグビーでつなぐ！幸せを創る明日の風景～

開催日程：2025年11月28日（金）14：15～15：00

開催場所：秩父宮ラグビー場（東京）

参 加 者：筒井義信（2027年国際園芸博覧会協会会長）

土田雅人（日本ラグビーフットボール協会会長）

東海林一（ジャパンラグビーリーグワン専務理事）

大野均（ラグビー元男子日本代表 東芝ブレイブルーパス東京 アンバサダー）

山本実（ラグビー女子日本代表 YOKOHAMA TKM所属）

プログラム：挨拶、締結セレモニー

登壇者によるご挨拶、施策ご紹介

フォトセッション、質疑応答



<GREEN×EXPO 協会 筒井義信会長による挨拶>

地球温暖化の進行は、スポーツ界にも大きな影響を与えています。特に屋外スポーツでは熱中症への懸念が高まり、競技の存続すら危ぶまれる状況です。しかし、スポーツは老若男女を問わず楽しめるものであり、スポーツを通じて環境意識を高めることで、一人ひとりの行動変容につなげることが可能になります。



<日本ラグビーフットボール協会 土田雅人会長によるご挨拶>

ラグビーを通じて地球環境を考え、話し合い、仲間と共に課題に取り組むこと、そしてより良い未来へとボールをつないでいくことは私たちの責務であり、当協会では環境サステナビリティを、積極的に推進しております。



<ジャパンラグビーリーグワン 東海林一専務理事によるご挨拶>

環境サステナビリティの実現は大きなテーマだと感じています。なぜなら、素晴らしいラグビーができること素晴らしいラグビーを応援していただけること、すべて素晴らしい地球環境があるからこそであります。こうした想いをリーグチーム、日本ラグビー協会が共同で持ち、様々な活動で環境サステナビリティの実現を高めてまいります。



<ラグビー元男子日本代表 東芝ブレイブルーパス東京 大野均アンバサダーによるメッセージ>

私は、子供たちにラグビーを教える機会もあるため、日頃から熱中症など気候変動の課題を肌で感じています。

SNSで発信をすることで、少しでも子供たちが環境課題について興味を持つきっかけになると嬉しいです。



<山本実（ラグビー女子日本代表 YOKOHAMA TKM所属）によるメッセージ>

私たち日本代表は「サクラフィフティーン」という愛称があり、この桜のエンブレムを見るたびに、日本の女子ラグビーの今を築いてくれた先輩たちへの感謝と敬意を胸に、新しい未来を自らの手で切り開く気持ちで、いつも世界の舞台で戦っています。



<包括連携協定締結式の様子>晴天の中行われました。



会場には日本ラグビーフットボール協会公式マスコットの「レンジー」と
GREEN×EXPO 2027 公式マスコットキャラクター「トゥンクトUNK」も登場し、
締結式を盛り上げました。

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	神奈川県横浜市
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日)
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
参 加 者 数	1500万人(有料来場者数:1,000万人以上)
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トウントウク」